

## エネルギーマネジメントシステム「ISO 50001」の認証を 世界で初めて取得

大日本スクリーン製造株式会社はこのたび、国際標準化機構 (ISO) が新たに制定するエネルギーマネジメントシステム「ISO 50001」国際規格案 (Draft International Standard; DIS) の認証を、世界で初めて取得しました。

エネルギーマネジメントシステム「ISO 50001」は、企業などが利用・排出するエネルギーの総合的な管理を目的に開発されたISOの国際規格で、2011年に発行が予定されています。このシステムの導入により、エネルギー効率の改善、CO<sub>2</sub>排出量とエネルギーコストの削減などが期待できるほか、自社の省エネ活動を客観的に示すことができるため、「ISO 9001」や「ISO 14001」に次ぐ主要マネジメントシステムとして、世界中の企業から高い関心が寄せられています。

当社では、品質管理や環境マネジメントシステムの整備に早くから取り組み、1996年1月に彦根地区事業所の製造部門で「ISO 9001」の認証を取得。1997年2月には「ISO 14001」を本社事業所で取得し、その後も各事業所、グループ会社へと対象を拡大。そして2009年10月には、当社グループとして環境マネジメントシステムを統合しました。さらに今後、労働安全衛生マネジメントシステム (OHSAS 18001) との統合も予定しています。

このような取り組みの一環として今回、「ISO 50001」の基礎であり同じ意義を持つ、「ISO 50001」国際規格案 (DIS) と欧州版エネルギーマネジメントシステム「BS EN16001」の認証を同時に取得。当社は、エネルギーコストやCO<sub>2</sub>排出量などの定量的な把握に加え、エネルギー効率の改善によるコストダウンやお客さまからのさらなる信頼感の向上にいち早く取り組んできましたが、その枠組みの中で、他社に先駆けて同規格の取得準備に着手した結果、このたび世界で初めて認証を得るに至りました。

当社は今回、経済産業省が定めるエネルギー管理指定工場である洛西事業所において認証を取得。今後は、国内の主要事業所を対象として、さらに認証の取得を進めていきます。また、今年度のCO<sub>2</sub>排出量を生産量に対して1%以上、エネルギーコストを5%以上削減することを目標に掲げ、コーポレートガバナンスの一環として実践するとともに、社会環境への貢献に努めていきます。